

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	青い鳥老人ホーム	所管課	健康長寿推進課
所在地	笛吹市春日居町小松855-192	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年5月1日 (平成16年4月1日)
管理方式	指定管理者((福)山梨ライトハウス、平成28年4月1日～平成33年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青い鳥老人ホーム設置及び管理条例		
設置目的	居宅において養護をうけることが困難な高齢者のうち主として視覚障害者の福祉に係る業務を総合的かつ有機的に行うため青い鳥老人ホームを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	○定員50名 ○敷地面積:4,248㎡ ○建築延面積:2,100㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造 一部2階建て ○施設の内容 居室(55室:各面積10.75㎡、計:591.25㎡)、地域集会室・霊安室(127.50㎡)、食堂(94.5㎡)、厨房(53.4㎡)、事務室(52.5㎡)、静養室(18.8㎡)、医務室(12.4㎡)、1・2階寮母室(24.99㎡)、宿直室(9.72㎡)、面会室(16.5㎡)、男・女浴室(38.92㎡)、特別浴室(10.91㎡)、1・2階洗濯室(26.79㎡)、理容室(9.1㎡)、談話室(62.56㎡)、その他(廊下等)(950.5㎡)、車庫(63.3㎡)、駐輪場(10.5㎡)、ごみ置き場(3.6㎡)		
主な業務内容	施設及び設備器具の維持保全に関する業務。 老人福祉法第20条の4の養護老人ホームに関する業務。 介護保険法第8条第11項の特定入居者生活介護を行う事業及び同法第8条の2第11項の介護予防特定施設入居者生活介護を行う事業に関する業務。		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	県内養護老人ホーム10か所のうち峡東地区 (1)養護老人ホーム光珠荘:定員50人(笛吹市) (2)養護老人ホーム晴風園:定員75人(山梨市)
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (目標値)	
利用者数	各月の入所者数	4月	45	41	43	47
		5月	45	41	42	47
		6月	45	42	42	47
		7月	46	42	43	47
		8月	46	42	44	47
		9月	45	42	44	48
		10月	45	43	44	48
		11月	45	45	44	48
		12月	44	45	44	48
		1月	44	44	43	49
		2月	42	43	46	49
		3月	43	43	47	49
	利用者数合計		535	513	526	574
	目標値		600	600	600	600
目標値設定の考え方		(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	
対(n-2)年度比		91.0%	95.9%	102.5%	109.1%	
稼働率		89.2%	85.5%	87.7%	95.7%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	平成31年度 (計画値)
収入	施設利用料	165,465	0	0	0
	指定管理者委託料	142,643,876	158,096,000	146,502,914	164,751,000
	その他	10,747,195	1,319,000	6,770,062	1,070,000
	収入合計(A)	153,556,536	159,415,000	153,272,976	165,821,000
支出	人件費	109,149,890	118,668,000	109,788,067	123,177,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	40,871,489	42,444,000	44,998,230	47,344,000
	(うち外部委託費)(B)	2,546,599	2,594,000	2,955,225	2,944,000
	支出合計(C)	150,021,379	161,112,000	154,786,297	170,521,000
収支差額(A-C)		3,535,157	-1,697,000	-1,513,321	-4,700,000
外部委託比率(B÷C)		1.7%	1.6%	1.9%	1.7%
利用者一人当りの経費		278,058	263,493	278,523	287,023

5. 利用者満足度

実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> ●設備・入浴・健康管理 <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年3月1日～平成31年3月22日 ・実施方法:相談員, 支援員が利用者の居室で面接調査を行う。 ●食事 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回目 平成30年7月5日～8月24日 回答者44名 ・第2回目 平成31年2月15日～3月25日 回答者47名 ・実施方法:栄養士が利用者の居室にて行う。
-------	---

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の設備について	92.7%	7.3%	0.0%	0.0%
②行事等	90.2%	9.8%	0.0%	0.0%
③食事	80.5%	12.2%	4.9%	2.4%
④入浴	87.8%	12.2%	0.0%	0.0%
⑤健康管理	95.1%	4.9%	0.0%	0.0%
⑥利用者のケア	87.8%	12.2%	0.0%	0.0%
⑦金銭管理	95.1%	4.9%	0.0%	0.0%
⑧その他	92.7%	7.3%	0.0%	0.0%
総合評価	92.7%	7.3%	0.0%	0.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ①冬の暖房と夏の冷房をもう少し長い時間入れて欲しい。 ②入浴時間が短い事が少し不満。 ③職員には感謝しているが、もう少し話をする時間があると嬉しい。 ④外出行事に連れて行ってってくれるので、ありがたい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ①気温をみて運転していますが、利用者の皆さんが快適に生活を送れるように努めます。 ②入浴時間は健康等を考慮し、約20分と決められているため、今後も皆さんに対して説明をしていきます。 ③小まめな対応と声掛けを心掛け、納得が得られるまで説明を行います。 ④今後も皆さんに楽しんでいただけるような行事を企画していきます。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法令・事業計画等に基づき適正に業務を執行した。</p> <p>施設の経年に伴い、修繕の必要な箇所が増加しているため、状況に応じて順次対応していく必要が認められる。</p>	<p>事業計画に沿った業務が実施されている。利用者が安全・安心な生活を送ることができるよう、今後も日常的な点検に基づき、適切な維持管理に努めてもらいたい。</p>
運營業務	<p>利用者への個別支援・日常生活支援については、個別に作成したケアサポートプランに基づき適正に実施している。また各種の行事・クラブ活動については、行事計画表に沿って実施し、多くの利用者が参加した。各種イベントへの参加を通し、地域との交流を積極的に図っている。</p> <p>今後も利用者のニーズの把握に努めていきたい。</p>	<p>事業報告書及び現地確認の結果、各種行事については、計画表に沿って適正に実施されている。</p> <p>今後も、利用者が充実感を感じられるような活動の創意工夫に期待したい。</p>
自主事業	<p>ショートステイ事業については、利用促進に努め適正に事業を実施している。在宅生活者・各関係機関に周知が図られた事で、昨年4件の新規利用者があり、空所対策の一環となっている。</p>	<p>ショートステイ事業については、周知努力の成果により、新たな利用につながっている。今後も事業の活用と推進に期待したい。</p>
利用状況	<p>利用定員50人に対して、87.7%の利用率であった。</p> <p>措置権者である市町村や各関係機関に対し、出向いての広報活動を定期的に行う事で、周知促進に努めている。措置権者からの入所依頼を受け、被措置者の状況調査を経て入所を決定しており、障がいの有無・程度に囚われる事無く、晴眼者・透析患者等であっても積極的に受け入れている。</p>	<p>周知促進活動の結果、昨年の利用率85.5%を2.2ポイント上回った。</p> <p>利用率のますますの向上に向けて、引き続き施設見学等に積極的に対応するとともに、市町村担当部署や視覚障害者関係団体との情報交換及び周知活動に努めること。</p>
収支状況	<p>収入は昨年度より利用者の増加により措置費収益が380万円ほど増えたが、寄附金が減ったこともあり微減に留まった。</p> <p>支出は洗濯の増加等による水道光熱水費の増加や修繕費の増加、更には人件費積立などがあり約550万円増加した。その結果、収支差額は約110万円の赤字であった。</p>	<p>支出については、着実な経費の節減に努めつつ適正な業務が執行されている。今後ともサービスが低下することのないよう注意していくとともに、安定的かつ計画的な運営を実施してもらいたい。</p>
利用者満足度	<p>利用者の要望・苦情等については、可能な限り迅速な改善・対応を図る事で、利用者が安心して生活ができる環境作りを心掛けている。常に利用者目線でのサービス提供を行っており、多くの利用者より高い評価を得ている。</p> <p>常日頃から、職員／利用者間の信頼関係を築いていく中で、個々の利用者のニーズや声に耳を傾け、満足度の向上に努めて参りたい。</p>	<p>調査結果からは利用者の高い満足度がうかがわれ、運営上の日々の工夫が反映されたものであると考えられる。</p> <p>今後も、日常的な関係作りやコミュニケーションを通し、満足度の向上に努められたい。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>利用者が独立心を損なうことなく、平穏な生活が送れるよう生活環境を整備するとともに、生きがいの持てる健全で明るい老後を送れるよう、各種行事の実施やおいしい食事の提供など、利用者支援の充実に努めた。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>概ね事業計画どおりに業務が実施されている。 今後も利用者の心情に寄り添い、可能な限り要望に応じていくようにすること。 ショートステイ事業についても、引き続き積極的な活用の方法を検討・推進していくこと。 経営状況については適正な運営が行われており、措置権者である市町村に対する周知等、盲養護老人ホームとしての施設の役割や特性に基づいた一層の施設利用の促進を計画的に進めていくこと。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>今後とも利用者の健康保持を最優先に希望や満足度をきめ細かく探り、事業運営の一層の充実を図っていく。 入所率の向上に向けては、当施設の役割や特性について措置権者である市町村への理解浸透を図るとともに、視覚障害者団体等との意見交換を行うなど、潜在的な利用者の発掘と施設の周知を関係団体等とも連携する中で図っていく。 ショートステイ事業の積極的な推進や経費の削減にも引き続き努め、安定した経営を図っていく。</p>

7. 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在

